

# 山崎昌甫 著作目録

木村 誠 編

## 凡例

- ・著書、論文、解説等原則として公刊されたものを発表年代順に配列した。
- ・文献は現物を確認したうえで掲載した。
- ・旧字体は新字体に改めた。
- ・時期は山崎昌甫先生が静岡大学を定年退職された1990年3月までとしたが、その後公刊された著作も含まれている。

## 1953年

- ・「教育技能の技術化について」『教師の友』教師の友社 第4巻第5号（通巻第26号）1953年7月 pp.18, 19

## 1955年

- ・「工業教育の歴史的構造」『職業と教育』国土社 第3巻第3号 1955年3月 pp.1-6
- ・海老原治善、久保義三、佐藤英一郎、深山正光共著「戦後日本教育の歩み—戦後日本教育研究ノート—」『カリキュラム』誠文堂新光社 1955年8月 pp.23-39

## 1956年

- ・「職業家庭科の歩み」『カリキュラム』1956年1月 pp.36-38
- ・「技術教育」海後勝雄・広岡亮蔵編『近代教育史Ⅲ 市民社会の危機と教育』誠文堂新光社 1956年5月 pp.225-242
- ・「労作教育」海後勝雄編『教育課程論』誠文堂新光社 1956年6月 pp.72-81
- ・「日本の技術教育構造についての一考察—企業構造の矛盾と技術的發展との関連において—」近代教育史研究会編『教育史研究』東洋館出版社 1956年6月 pp.21-28
- ・「社会現象としての教育とは何か」海後勝雄編『教育科学-その課題と方法-』東洋館出版社 1956年11月 pp.97-113

## 1957年

- ・「産業教育の基礎構造の再検討—工業技術教育を中心として—」『カリキュラム』1957年6月 pp.43-47

- ・「八年研究のカリキュラムと学習指導法」海後勝雄編『実験的教育研究法』明治図書 1957年9月 pp.283-320

#### 1958年

- ・「企業内教育の動向—八幡製鉄所技能者教習所を見学して—」『教師の友』通巻61号 1958年6月 pp.22-25, 7

#### 1959年

- ・「企業内教育の現状—某電機のばあいを通して—」『カリキュラム』1959年6月 pp.56-58
- ・「企業内教育の組織及び教育課程の現状と問題点」『教育学研究』第26巻第2号 日本教育学会 1959年7月 pp.123-141

#### 1961年

- ・「技術科・芸術諸教科の本質と現状」『生活教育』第13巻第3号 誠文堂新光社 1961年3月 pp.79-81
- ・「子どもに希望を」『生活教育』第13巻第5号 1961年4月 pp.78-79
- ・「変貌する国民生活と学校」『生活教育』第13巻第10号 1961年9月 pp.24-32
- ・「高等専門学校法成立の背景」『生活教育』第13巻第11号 1961年10月 pp.94-97

#### 1962年

- ・「高校急増対策と全入問題」『生活教育』第14巻第3号 1962年3月 pp.113-117
- ・「科学技術教育の意義と内容—その基盤の分析を通して—」『生活教育』第14巻第9号 1962年9月 pp.77-84
- ・「技術革新と企業内教育訓練—技能者養成制度の変貌過程—」『教育社会学研究』第17集 日本教育社会学会 1962年10月 pp.117-131

#### 1963年

- ・「科学技術教育の基本問題と今後の課題」『生活教育』誠文堂新光社 第15巻第4号 1963年3月 pp.46-47
- ・「企業内教育の展開過程—産業要求の直接的具體化として—」『国民教育研究所論稿』第6号 国民教育研究所 1963年7月 pp.135-141
- ・「教材の現代化」『生活教育』第15巻第12号 1963年11月 p.7
- ・「音楽教育をゆがめるもの」『生活教育』第15巻第13号 1963年12月 pp.110-111

1964年

- ・「科学技術革新下の学校教育の課題」『学校運営研究』No.21 明治図書 1964年1月 pp.39-45
- ・「生活教育における生産・労働の視点」『生活教育』第16巻第7号 1964年6月 pp.41-48
- ・「教科の本質と内容の系統技術・家庭科」『生活教育』第16巻第8号 1964年7月 pp.22-28
- ・「能力主義教育論の本質」『現代教育科学』No.79 明治図書 1964年9月 pp.59-63
- ・「主体的な学習の姿勢」『生活教育』第16巻第12号 1964年11月 p.7
- ・「人的能力政策の要求基盤」佐藤興文・海老原治善編『受験能力と学力』三一書房 1964年10月 pp.89-110
- ・「高木提案に対する意見—低学年社会科は独立教科として必要である—」『生活教育』第16巻第14号 1964年12月 pp.15-20

1965年

- ・「技術革新と零細企業」『生活教育』第17巻第1号（通巻193号）1965年1月 pp.56-62
- ・「日本の独占資本の教育要求」『生活教育』第17巻第4号（通巻196号）1965年4月 pp.86-91
- ・「明日をきづく音楽教育」国立音楽大学教育音楽科編（代表：山崎昌甫）『音楽教育学序説』カワイ楽譜 1965年9月 pp.11-25
- ・「企業内教育方法の特質」『生活教育』第17巻第11号（通巻203号）1965年10月 pp.35-40

1966年

- ・「勤労青年教育の『義務化』をめぐって—社会政策と後期中等教育—」『国民教育研究』国民教育研究所 1966年7月 pp.29-37
- ・「企業内教育の教育理念1」別冊『現代教育科学』第11号（1966年秋期号）明治図書 1966年11月 pp.178-187
- ・「企業内教育の教育理念2」別冊『現代教育科学』第12号（1966年冬期号）明治図書 1966年12月 pp.148-158

1967年

- ・「中等教育の多様化—教育と教養、技能と技術の分裂—」『生活指導』No.98 明治図書 1967年1月 臨時増刊号 pp.15-23
- ・「後期中等教育の背後にあるもの—勤労青少年教育の教育機会の問題」『生活教育』第19巻第1号（通巻218号）1967年1月 pp.44-47

1968年

- ・「労働の『近代化』と技術教育」国民教育研究所編全書国民教育『教科と歴史』明治図書 1968

年3月、pp.139-176

- ・「窯業における企業内教育訓練の問題点—アンケートを参照して—」『セラミックス』社団法人窯業協会 1968年8月 pp.602-606
- ・「企業内教育とはなにか」『労働者教育に関する資料集2』日本労働組合総評議会教宣局 1968年 pp.438-481

#### 1969年

- ・河口道朗、繁下和雄共著「音楽科」梅根悟編『現代教育研究講座9 教育内容の構造Ⅲ』日本標準 1969年3月 pp.158-228
- ・福井幸雄共著「技術科」梅根悟編『現代教育研究講座9 教育内容の構造Ⅲ』日本標準 1969年3月 pp.305-330
- ・「企業内教育のねらいと現実」『社会教育』No.137 国土社 1969年4月 pp.44-51

#### 1970年

- ・「教育事務の合理化とはなにを意味するか」『学校事務』学事出版 1970年8月 pp.31-38

#### 1971年

- ・「教育活動に果たす学校事務の本質的役割はなにか—能力開発と人間関係」『学校事務』学事出版 1971年1, 2, 3月(1月号pp.24-29、2月号pp.15-20、3月号pp.21-27)
- ・「最近の企業教育の特長」『月刊合化』合化労連 1971年5月 pp.160-169
- ・鈴木昭二・竹内真一・吉田昇共著「第15分科会進路指導と働く青年の問題」『日本の教育』第20集 1971年6月 pp.385-404
- ・「労務管理と企業内教育」『セラミックス』社団法人窯業協会 1971年8月 pp.601-608
- ・「高校教育分科会報告」『生活教育』第23巻第11号(通巻276号) 1971年11月 pp.57,58

#### 1972年

- ・「社会主義的社会競争の功罪」『児童心理』金子書房 1972年5月 pp.104-111
- ・「労働組合のおこなう労働者教育—労働組合員教育の原理と課題—」『銀行労働・調査時報』銀労研 1972年6月pp.3-8
- ・池上正道・花香実共著「第15分科会進路指導と働く青年の問題」『日本の教育』第21集 1972年6月 pp.353-372

#### 1973年

- ・書評「人間とはなにか」(石原静子著)『生活教育』通巻291号 1973年2月 pp.61-63

- ・「労働者にとっての自然認識」『生活教育』第25巻第6号（通巻295号）1973年6月 pp.104-111
- ・「経済・政治そして教育」『生活教育』第25巻第7号（通巻296号）1973年7月 pp. 70,71
- ・「母親と子どもと教師と」『生活教育』第25巻第8号（通巻297号）1973年8月 pp. 77,78
- ・池上正道・碓井正久・竹内真一共著「第15分科会進路指導と働く青年の問題」『日本の教育』第22集 1973年8月 pp.351-369
- ・「夏の研究集会の成果を現場実践へー生活指導の意味をもう一度たしかめようー」『生活教育』第25巻第9号（通巻298号）1973年9月 pp. 73,79
- ・「労働者教育の組織化の原則について」『教育』国土社 1973年10月 pp.77-82

#### 1974年

- ・「第15分科会進路指導と働く青年の問題」『日本の教育』第23集 1974年8月 pp.331-351

#### 1975年

- ・「労働者の学習ー地域と職場をつなぐものー」『社会教育』国土社 1975年3月 pp.50-58
- ・「准看護婦養成制度と高等学校衛生看護科」国民教育研究所編『国民教育』労働旬報社 1975年春期号 pp.104-111
- ・「第15分科会進路指導と働く青年の問題」『日本の教育』第24集 1975年6月 pp.323-339

#### 1976年

- ・小川利夫共著「第15分科会進路指導と働く青年の問題」『日本の教育』第25集 1976年6月 pp. 311-325
- ・「高等学校衛生看護科の性格」『看護教育』Vol.17 No. 6 医学書院 1976年6月 pp.383-387
- ・「‘すぐ役に立つ教育’論の検討」『看護教育』Vol.17 No. 7 1976年7月 pp.456-460
- ・「看護学研究の意義」『看護教育』Vol.17 No. 7 1976年8月 pp.519-524

#### 1977年

- ・「准看護婦教育の問題点ー特に看護要員確保政策の検討を通してー」『日本看護協会調査研究』日本看護協会 1977年3月 pp. 1-15
- ・「企業における『生きがい』の組織ーその理論化についてのノートー」『日本の民間教育』民衆社 1977年4月 pp.78-86
- ・「職業技術教育論」小川利夫編『講座・現代社会教育 I 現代社会教育の理論』亜紀書房 1977年6月 pp.297-342
- ・「技術教育への視点」メディカルフレンド社編集部編『看護技術論』メディカルフレンド社 1977年9月 pp.215-249

- ・「准看護婦問題について—特に看護教育の視点から—」『看護』第29巻第9号 日本看護協会出版会 1977年9月 pp.78-85
- ・「中高年労働者の企業内教育」『労働の科学』労働科学研究所 1977年9月 pp.22-27

#### 1978年

- ・「日本技術教育史（戦前）」梅根悟監修『世界教育史体系32 技術教育史』講談社 1978年3月 pp.15-42、50-89、97-118
- ・池上正道共著「第15分科会 選抜制度と進路指導」『日本の教育』第27集 1978年5月 pp.345-360
- ・『技術と人間の歴史』社団法人農山漁家生活改善研究会 1978年8月 pp.1-26

#### 1979年

- ・池上正道・小川利夫共著「第15分科会 選抜制度と進路指導」『日本の教育』第28集 1979年5月 pp.339-355
- ・「子どもの進路指導機構の問題点」『季刊教育法』第32号 総合労働研究所 1979年7月 夏季特大号 pp.51-64
- ・「働く青年の学力問題」小川利夫・宮川知彰編『講座日本の学力14 青年の学力』日本標準 1979年9月 pp.362-395
- ・「学校・学級の生産活動と社会的生産労働組織と管理」竹内常一編『講座日本の学力 8 身体・技術』日本標準 1979年11月 pp.428-443
- ・「青年にとって大学卒業とは何か」寺崎昌男編『講座日本の学力別巻1大学教育』日本標準 1979年12月 pp.91-112

#### 1980年

- ・「カリキュラム問題における生活指導—とくに職業教育・訓練にかかわって—」『高校生活指導』明治図書 1980年 春季号 pp.137-146
- ・小川利夫共著「第15分科会選抜制度と進路指導」『日本の教育』第29集 1980年5月 pp.353-368

#### 1981年

- ・解説「梅根悟著『労作教育新論』」『生活教育』通巻386号 1981年1月（梅根悟追悼臨時増刊号） pp.30, 31
- ・「第15分科会選抜制度と進路指導」『日本の教育』第30集 1981年5月 pp.393-406
- ・「新任職業訓練指導員短期研修課程の意義」中村謹也、森和夫、森下一期共著『教材研究と授業

づくり－職業訓練員新任者研修の記録－』職業訓練大学校指導科 1981年6月 pp.1-5

- ・『「はんだ付け時の母材への正しい加熱方法を理解させる」ができるまで』同上誌 pp.56-63

#### 1982年

- ・「制度としての職業高校」『ジュリスト総合特集』No.26 現代の青少年 有斐閣 1982年3月 pp.310-317
- ・「技術教育における基本的・基礎的なもの」『看護展望』メディカルフレンド社 1982年3月 pp.33-39
- ・芹沢寿良共著「企業内教育－その思想・技術教育」労働者教育協会編『労働者教育論集』学習の友社 1982年9月 pp.102-125
- ・「技術革新と職業教育・訓練の動向」『月刊金属労働資料』全金労組 1982年11月 pp.34-48

#### 1983年

- ・「技術革新と教育」『生活教育』No.414 民衆社 1983年5月 pp.14-21
- ・「第15分科会選抜制度と進路指導」『日本の教育』第32集 1983年6月 pp.361-381
- ・「進路指導と青年問題－若年労働力確保政策の具体的進展と進路指導－」『国民教育』第58号 1983年秋期号 pp.142-150
- ・「技術教育における教師の研修」『看護展望』メディカルフレンド社 1983年11月 pp.30-35

#### 1984年

- ・「労働－教育学からのアプローチ－」和光大学人文学部人間関係学科『人間科学論集』1984年4月 pp.61-72
- ・「情報技術教育をめぐる二、三の問題について」技術教育研究会『技術教育研究』第25号 1984年8月 pp.27-35
- ・『技術と人間の歴史（改訂版）』社団法人農山漁家生活改善研究会 1984年9月 pp.1-22
- ・「企業における管理と人間関係」季刊『教育実践』第44号 民衆社 1984年秋号 pp.100-108

#### 1985年

- ・「第15分科会選抜制度と進路指導」『日本の教育』第34集 1985年6月 pp.355-372
- ・「地域産業と職業教育・訓練」『産業教育』第35巻第9号 通巻第418号 1985年8月 pp.7-10
- ・座談会「現代における“労働と教育”」『教育』No.458 1985年10月 pp.16-44

参加者：新津利通・山崎昌甫・乾彰夫・汐見稔幸・須藤敏昭

1986年

- ・「ME化と技術教育(1985.12)」技術教育研究会『技術教育研究』第27号 1986年1月 pp.1-9
- ・田中萬年共著「公共職業訓練におけるカリキュラム問題」『障害者問題研究』45号 1986年 pp.11-18
- ・乾彰夫共著「第15分科会 選抜制度と進路指導」『日本の教育』第35集 1986年6月 pp.359-375

1987年

- ・「リカレント教育の現状と問題点—戦略としての日本の生涯学習体系整備の意義—」『社会教育』No.364 国土社 1987年2月 pp.12-19
- ・木村誠共著「技術的能力の指導についての一考察—『Principles of Trade and Industrial Teaching』1946をもとに」『静岡大学教育学部研究報告(教科教育篇)』第18号 1987年3月 pp.183-196
- ・乾彰夫共著「第15分科会 選抜制度と進路指導」『日本の教育』第36集 1987年10月 pp.331-348
- ・解説「技術教育の成立—イギリスを中心に—」『佐々木輝雄職業教育論集第1巻 技術教育の成立—イギリスを中心に—』多摩出版 1987年12月 pp.313-336

1988年

- ・大河内信夫共著「体験的学習を取り入れた総合科目の授業展開」『静岡大学教育学部研究報告(教科教育篇)』第19号 1988年3月 pp.163-192
- ・「高等職業資格と大学の基準」(財)大学基準協会『会報』1988年4月 pp.77-89

1989年

- ・「第15分科会 選抜制度と進路指導」『日本の教育』第37集 1989年2月 pp.271-283
- ・「技術教育における『演習』」『看護展望』Vol.14 No.13 メディカルフレンド社 1989年2月 pp.40-43

1990年

- ・「第15分科会 選抜制度と進路指導」『日本の教育』第38集 1990年1月 pp.297-310
- ・木村誠共著「技能教授に関する基本的課題—技術科教育研究の一視点—」『静岡大学教育学部研究報告(教科教育篇)』第21号 1990年3月 pp.119-134
- ・「職業教育としての技術教育の課題—日本における現実と課題—」『教育学研究』第57巻第3号 1990年9月 pp.269-278